夏海湖の四季

~大洗研究開発センターだより~

第75号 平成27年9月発行

発行所 日本原子力研究開発機構 大洗研究開発センター ☎029-267-4141(代)









大洗研究開発センター所長挨拶

「今年の夏は特別暑かったですねー…」といった会話を交わす機会が増え、これがここ何年も続き、なかば常態化してきているのではないか、と感じています。しかしさすがにピークは越えたといったところでしょうか。お盆を過ぎるとまわりで虫の音が聞こえ出すので、そういった効果も涼感を誘うのかもしれませんね。

この時期、大洗研究開発センターでは多くの研修生の皆さんを国の内外から受け入れています。原子力分野の人材育成を目的とした、「国内外若手研究者・技術者のためのJMTRオンサイト研修」、若手教育者の皆さんや教育者を目指す学生の皆さんを対象とした「放射線取扱実践講座」などさまざまな方々を対象に原子力・放射線への理解を深めていただくための活動を行う時期に当たります。

「国内外若手研究者・技術者のためのJMTRオンサイト研修」ではマレーシア、タイ、ベトナム、ポーランド、インドネシア、カザフスタン、日本の7か国から、合計17名の若い研修生が集まりました。短い期間でしたが熱心に原子力の講座を受講するとともに、サンビーチで行われた花火大会を鑑賞するなど、積極的に日本の文化にも触れて満足して帰国していきました。

このうちマレーシアから来た若い女性と話す機会がありました。彼女いわく、「日本には四季があっていいですね…」。あまり気が付かなかったがマレーシアには明確な四季がなく、いわゆる常夏なのだそうです。常夏といえばなんとなくうらやましくも感じますが、まあそういわれればそうかもしれないなという気にもなり、この暑さもメリハリの利いた四季の一部として甘んじて受け入れようかという気にもなります。

彼女は自らの目指す将来の夢をしっかりと語り、今回の研修から何を学び、吸収しようとしているのかが明確であった点が印象に残りました。内外の若い人たちと話すと自らの日常的な職場での生活から少し離れた話題に新鮮味を覚えるとともに彼らそれぞれが目標の実現に向けてイキイキと活動している姿に感心します。

久しぶりに若者たちから元気をもらいました。



所長 武田誠一郎



安全大会を開催しました

大洗研究開発センターでは、全国安全週間の初日に当たる7月1日(水)に、安全意識の共有、浸透を目的とした安全大会を開催しました。

安全大会には、大洗研究開発センターの各部署の代表者やセンターで働く請負会社の代表者計195名が参加し、理事長メッセージの伝達、所長の安全訓示などが行われました。理事長メッセージでは「職場で働く一人一人の安全意識を高めて、通勤途中の交通安全も含めて安心して働ける職場づくりを達成すること」、所長の安全訓示では「業務を進めるに当たって、施設の安全確保と労働災害防止がその大前提であることを認識し、一人一人が、よりレベルの高い安全職場、安心職場を目指すこと」などの訓示がありました。

安全標語の募集には、1,275 件の応募があり、その中で最優秀作品に選ばれた入選者が表彰されました。

最後に今年度の安全標語最優秀作品である「慣れと油断が命取り せまる危険は予告なし"抜くな確認" "省くな点検"」を参加者全員で唱和し、安全大会を締め括りました。



▲ 武田所長による安全訓示



▲ 参加者全員による安全標語の唱和

大洗八朔祭に参加しました

8月23日(日)、大洗研究開発センターは、大洗町で開催された大洗八朔祭に、日本核燃料開発株式会社及び日揮株式会社とともに原子力事業所として参加しました。当日は天候にも恵まれ、総勢約70名で臨んだ磯節パレードでは、大勢の観客が見守る中、息の合った踊りを披露することができました。

また、パレード後方では、原子力事業所をPRするパンフレットやうちわを地域の皆様や観客に配布するとともに、剣や花、動物などのバルーンアートを作り子供たちにプレゼントするなど、地域の皆様との交流を通じて、原子力に対する理解と地域との共生を促進するための活動を行いました。



▲ バルーンアートを プレゼント





▲ 磯節パレード

原子炉施設の状況(平成27年6月~平成27年8月)

材料試験炉(JMTR) ____ NEW JMUUR

第35回施設定期検査中(H18.9.1~)

(1) JMTRの運転管理等

・ 平成26年9月11日に発生した第3排水系貯槽(Ⅱ)建屋内での放射性物質漏えいの 原因究明と再発防止策について、法令報告第四報(補正)を6月2日に提出し、原子力 規制庁の了解を得ました。恒久的措置を行うため、漏えいを生じた廃液配管等の取替 えのための設計及び工事の方法に係る申請を6月10日及び8月12日に原子力規制委員 会に行いました。

(2) その他

・ホットラボ施設の排気筒は、 基礎部の固定ボルトに減肉が認められたため、8月7日 までに撤去作業を行いました。現在、復旧に向け、原因調査及び新たな排気筒の設計 検討を進めています。併せて早期再稼動に向け、JMTR原子炉施設の新規制基準に係 る適合性の審査対応を引き続き進めています。



高速実験炉「常陽」

第15回施設定期検査中(H19.5.15~)

(1) 施設の維持・管理

・平成27年6月~8月の期間には、原子炉保護系点検に係る教育訓練を実施したほか、 定期的な施設の点検として、非常用ディーゼル発電機の点検、1次系及び2次系のナト リウム漏えい検出器の点検、ボイラー設備の点検及び各種の月例点検等を行いました。 また、高経年化対策として、廃棄物処理設備に係るプロセス計器の更新及び点検を実施 しました。

(2) 燃料交換機能の復旧作業の完了

・燃料交換機能復旧作業を実施するために、一時的に取り外した回転プラグ搭載機器を 再設置し、その機器が正常であること等を平成27年6月に確認しました。



第5回施設定期検査中(H23.2.1~)

(1) 施設定期検査作業状況

- 補機/一般冷却水設備、計測制御系統施設(プラント計算機、原子炉出力制御装置、 現場伝送器、安全保護系計装盤等)、放射能計装設備、通信連絡設備、電気設備の点 検を実施しました。また、クレーンの年次点検及び性能検査を実施しました。
- 平成27年7月から10月の予定で起動用中性子源の交換作業を実施しています。

(2) その他

・平成26年11月26日に行ったHTTR原子炉施設の新規制基準に係る適合性の審査の 申請について、原子力規制庁と審査ヒアリング31回、審査会合(公開)9回を実施 しました。引き続き審査対応を進め、早期再稼働を目指します。

広報チーム「シュガーズ」のご紹介 🥙



▲平成27年7月より新シュガーズが始動 男性9名、女性3名のフレッシュなメンバーです! 大洗研究開発センターには、 「シュガーズ」という広報チーム があります。一般の方々の施設見 学や出張授業など、皆様にわかり やすい説明を心がけ、より多くの 方々に原子力に関する理解と知識 を深めていただけるよう活動して おります。

- ●主な活動内容●
- 施設見学対応
- ・小中学校への出張授業 (原子力防災・放射線に関する講義等)
- その他イベントでの活動

sugars



お気軽にご連絡ください!



Trick or treat

Oarai Research and Development Center

大洗わくわく科学館からのお知らせ





他にもイベント満載です。詳 細はホームページ等で確認し てね★





〒311-1305 茨城県東茨城郡大洗町港中央12番地 Tel 029-267-8989 http://www.jaea.go.jp/09/wakuwaku/